

第42回運動会に向けて ～成功するための確認事項～

校長 森 勝義

9月20日開催の第42回運動会までちょうどあと1週間。一昨年、昨年、インディアナ日本語学校の運動会を観ました感想を言います。ほぼぶっつけ本番での運動会、子どもたちの取組、先生方の意気込み、運動会全体の運営を仕切っていた高等部の生徒たちの素晴らしい統率力など、日本では考えられないほどの光景を目の当たりにすることができた感激は、44年の教員生活の中で終生忘れえない宝物になりました。その情景、子どもたちの頑張りを1週間後に、また観ることができることは喜び以外の何物でもありません。

今年度は熱中症対策のために、テントを新たに10張購入しました。昨年までは小学4年以上の児童生徒は炎天下の中で応援をしていました。今年度は全員がテントの中から応援することができます。また、塩分補給のために各担任へ一袋ずつ「ソルトレモンキャンディー」を持ってもらいます。

また、保護者の会に依頼して、運動会のテント張りと撤収ボランティアのお願いをしました。地区役員、コピー係、図書係の方々がボランティアとして、前日夜：8名 当日朝：6名 終了後：9名の方々が協力していただきます。

もちろん、運営委員会の方も、前日の午後5時に集まっていたき、テント設営、放送機器のセッティング、フィールド競技、トラック競技のライン引き、用具の最終点検等を夜遅くまでやっていたいてました。運動会当日も朝7時に集合し、準備をしてくださっています。保護者の会や安全パトロール、クラスペアレンツの方々のボランティア活動も、運動会成功の大きな鍵となっています。多くの方々が携わってくださってこそ、子どもたちの笑顔はじける演技や競技を閲覧できるんだと思います。

子どもたちは我々大人が想像している以上に運動会をととても楽しみにしています。各学年の徒競走に向けて自宅近くを走り、練習をしている子どももいます。リレーの選手になった子どもたちもトレーニングをしていることを私自身、直接耳にしました。きっとキャプテンを中心にまとまり、ワンチームとなって力の限り、赤組のために、白組のために全力を尽くしてくれることでしょう。校長の私も全力で両組を応援します。今年、私はじけます。保護者の皆様もはじけましょう。

インディアナ日本語学校の運動会運営が伝統となって脈々と流れ、後輩たちにバトンをつなげていくことは大変素晴らしいことです。保護者の皆様、お子様の雄姿を、日本語学校の素晴らしさを一緒に目に焼き付けて記憶に残る運動会にしていきましょう。

「ひとりはおみんなのために、みんなはひとりのために」の精神で、
第42回運動会を成功させましょう。

待ち伏せを読んで
ティム・オブライエンさんが戦時中に体験したことを記す本です。この本には当時の心境や情景がとてもリアルに書かれているので、読んでいて胸が苦しくなりました。彼はこの本の中で「私自身のイマジネーションの一部」「さあ投げるんだと自分に言い聞かせる前の、私はもうすでに手榴弾を投げてしまっていた。」「今でもまだ、私はそれを整理し終えてはいない。」と書いています。私は、これらの文が自分の意思と自分の体が繋がってなくて人間らしさがなく恐怖を感じるので、戦争をやってはいけない大きな理由だと考えます。

今、ウクライナとロシアでは戦争が起きています。戦争が始まった当初、日本のニュースでは戦争についてたくさん報道されていました。しかし、取り上げられることは次第に少なくなり、今ではほとんど取り上げられていません。私はこの本を読んだとき、脳の奥底に埋まっていたロシアとウクライナの戦争を思い出しました。私はその場にいないから全てを理解することはできず、難しいですが、きっとロシア軍、ウクライナ軍の兵士の中に、自分のしたことが正しいのかわからない人も多いと思います。この先の人生ずっと悩まされる人もいると思います。

戦争は、身体で戦うだけでなく、人の心までもを傷つけます。私は待ち伏せを読んで戦争は良くないと改めて強く思いました。これからも「戦争のない世界を作るためにはどうしたらいいか」を考え続けたいと思います。

ナイアガラの旅

4年1組 加賀美 徹

ぼくは、アメリカのどくろつきねん日に、カナダのナイアガラの水を見に行きました。インディアナからカナダまでは、やく八時間の車の旅でした。

まず一日目は、カナダのトロントに住んでいるお母さんの友だちの家へ遊びに行きました。友だちはロシア人なので、ロシア料理であるボルシチや、水ギョウザをふるまってくれました。とてもおいしかったです。

二日目は、ナイアガラの水を見に行きました。ナイアガラの水を、上から見たり、大きな船に乗り、水の近くまで行きました。水しぶきが強くて、目を開けられませんでした。午後からは、ナイアガラサファリへ行きました。たくさんの動物を見たり、公園で遊んで楽しかったです。

ナイアガラの水へ行くのは二回目だったけれど、とても楽しかったです。

◎9月6日	<投稿作品>	小学5年1組特集 土曜パラダイスで紹介
小学5年1組	椎名 恵麻	「くらい夜 夜道をてらす 星月夜」
小学5年1組	齋藤 晴太	「秋の朝 公園あれる 足もとに 落ち葉発見 もりあがり」
小学5年1組	上田 めい	「秋になり 風が冷たい すずしいな」
小学5年1組	中尾 栞菜	「秋休み おたんじょうびが 楽しみだ」
小学5年1組	野澤 つばき	「さつまいも ほかほかしてて おいしいな」
小学5年1組	水野谷 燈	「秋の朝 外に出てみて 足もとに もみじ発見 きれいだな わくわくするな まだあるぞ」
小学5年1組	吉原 和玖	「秋がきた 落ち葉で遊ぶ 子どもたち」
小学5年1組	力丸 璃子	「おやつには くりさつまいも おいしいな」
小学5年1組	白井 志侑	「さつまいも ほかほかしてる おいしいな」
小学5年1組	今井 桜子	「やきいもは あざやかなきいろ きれいだな」
小学5年1組	加賀美 凜	「望月が 夜に光って きれいだな」
小学5年1組	安藤 優利	「秋の夜 外に出てみた 満月だ」
小学5年1組	西藤 蒼生	「やきいもが めちゃくちゃ おいしいな」
小学5年1組	野作 優太	「秋になり 夜が早くて 早く寝る」
小学5年1組	野林 航大	「通り道 イチョウやもみじ さきほこる」